2015 年 12 月 4 日

インフルエンザ週報　2015 年 第 48 週 （11 月 23 日 ～ 11 月 29 日）

➢ 岡山県の流行状況

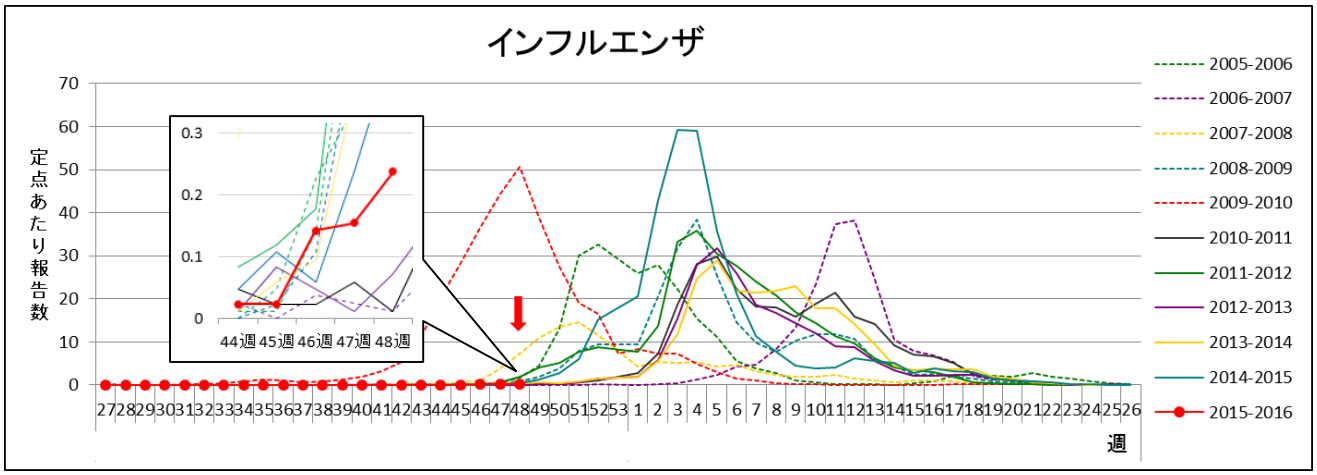
○インフルエンザは、県全体で 20 名の報告がありました（84 定点医療機関報告）。

○インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は 3 施設でありました。

○インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

【第 49 週　速報】

○浅口市内の高等学校 1 校で、インフルエンザによるとみられる臨時休業がありました。（12 月 2 日）



※　インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ～ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

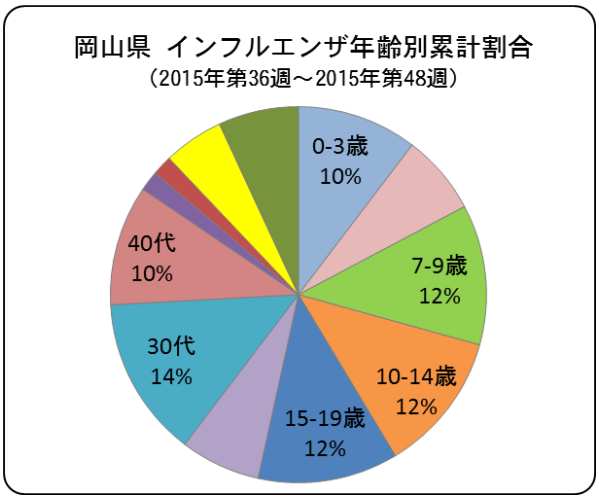
インフルエンザは、倉敷市 11 名、備中地域 5 名、備前地域 3 名、岡山市 1 名の報告があり、県全体では 20 名（定点あたり 0.15 → 0.24 人）でした（84 定点医療機関報告）。県南部で患者が発生しており、定点あたり報告数は 3 週連続で増加しました。12 月に入り、インフルエンザは流行シーズンを迎えました。外出後は手洗いを励行し、感染予防を心がけましょう。

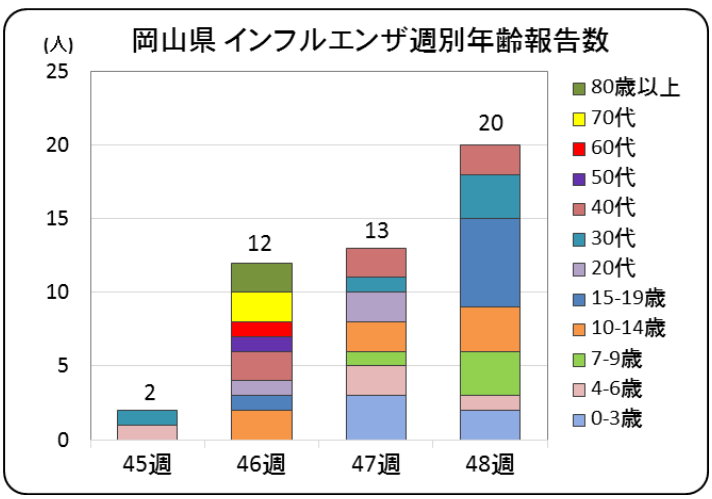
第 47 週全国集計によると、全国の定点あたり報告数は 0.19 人であり、発生はまだ散発的です。都道府県別では、沖縄県（1.03 人）、秋田県（0.46 人）、福井県（0.44 人）の順で、定点あたり報告数が多くなっています。

平成 27 年第 47 週 インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）
インフルエンザ Q&A（厚生労働省）
平成 27 年度　今冬のインフルエンザ総合対策について（厚生労働省）

1.年齢別発生状況

今シーズン（2015 年 8 月 31 日～）の年齢別累計割合は、30 歳代 14%、7－9 歳・10－14 歳・15－19 歳 各 12%、0－3 歳・40 歳代 10% の順で高くなっています。



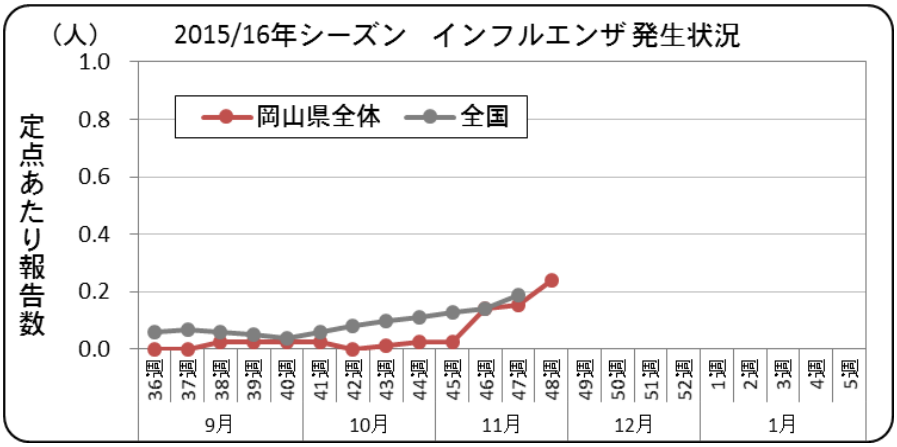


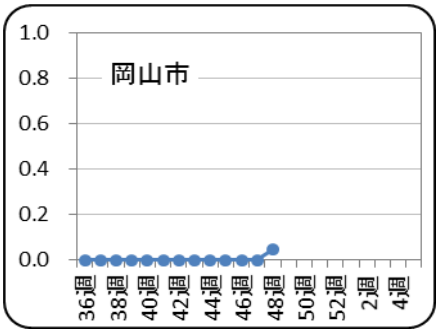
2.地域別発生状況

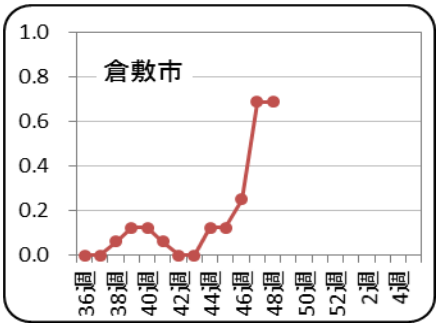
前週からの推移（単位：人）

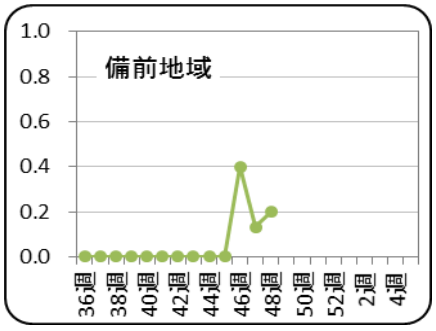
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	**患者数**	**20**	↗	備　中	患者数	5	↑
	定点あたり	**0.24**			定点あたり	0.42	
岡山市	患者数	1	↑	備　北	患者数	0	→
	定点あたり	0.05			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	11	→	真　庭	患者数	－	→
	定点あたり	0.69			定点あたり	－	
備　前	患者数	3	↗	美　作	患者数	－	→
	定点あたり	0.20			定点あたり	－	

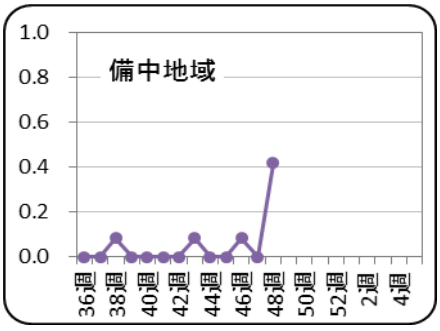
【記号の説明】　前週からの推移　↓：2倍以上の減少　↘：1.1～2倍未満の減少　→：1.1未満の増減　↗：1.1～2倍未満の増加　↑：2倍以上の増加

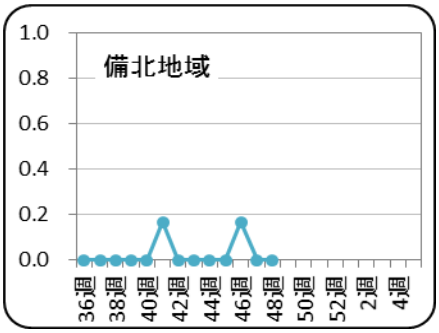


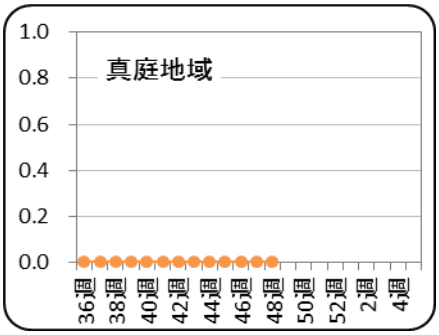


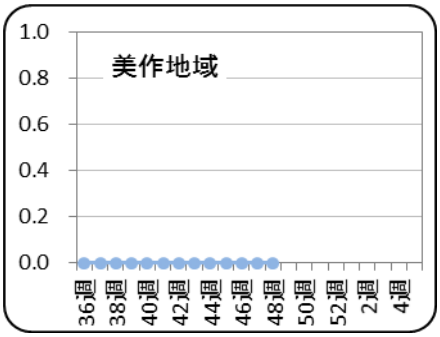










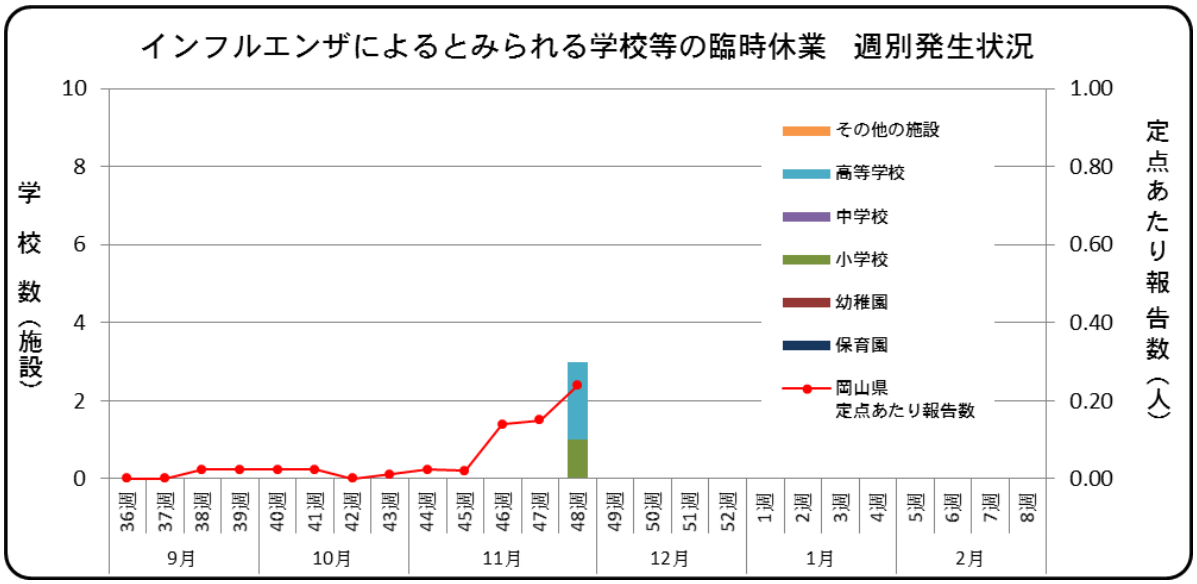


3. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 3 施設でありました。

【第 48 週　臨時休業施設数】

▽岡山市　1　▽玉野市　1　▽浅口市　1



1）有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名＊	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	**36**	**36**	**26**	**26**	**3**	**3**	－	－	－	－	**3**	**3**	**H27.11.24**
岡山市	9	9	6	6	1	1	－	－	－	－	1	1	**H27.11.24**
倉敷市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
備前地域	9	9	7	7	1	1	－	－	－	－	1	1	**H27.11.24**
備中地域	18	18	13	13	1	1	－	－	－	－	1	1	**H27.11.24**
備北地域	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
真庭地域	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
美作地域	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

＊地域名は、保健所管轄地域を表しています。

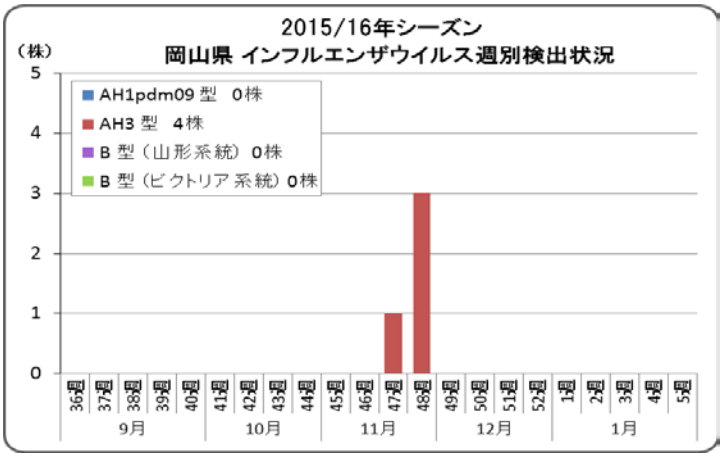
2）臨時休業施設数の内訳　　第 48 週：3 施設　　累計：3 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	－	－	－	－	1	1	－	－	2	2	－	－

4. インフルエンザウイルス検出状況

第 48 週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH3 型が 3 株でした。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3 型 53 株、AH1pdm09 型 28 株、B 型 25 株となっています。（2015 年 11 月 27 日現在）



[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）]

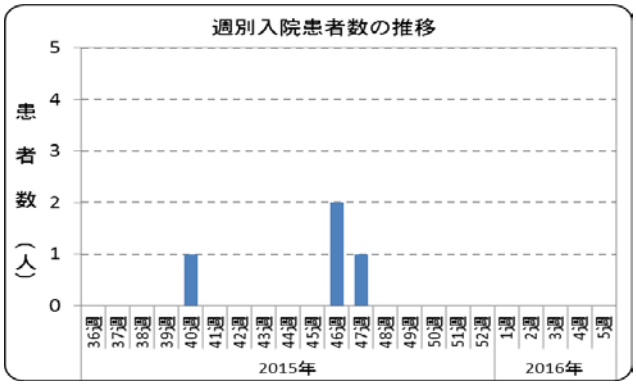
【第 48 週 判明分】

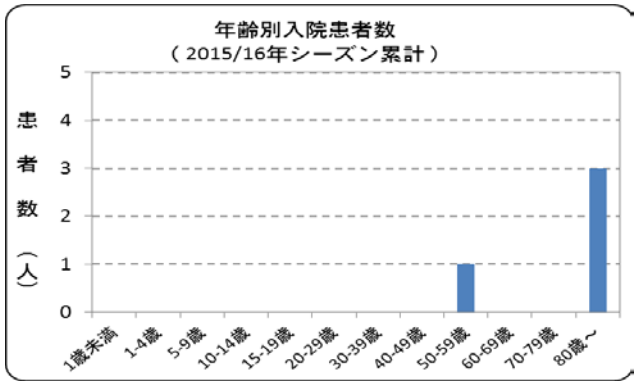
ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第48週（11/23～11/29）	2015/11/24	備前	小学生	女
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第48週（11/23～11/29）	2015/11/24	備前	小学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第48週（11/23～11/29）	2015/11/24	備前	小学生	男

4. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。





【2015 年 8 月 31 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計＊
入院患者数									1			3	4
ICU 入室									1				1
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査（予定含）													
頭部 MRI 検査（予定含）													
脳波検査（予定含）													
いずれにも該当せず												3	3

＊重複あり

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2 週間程度かかります。
本格的な流行がはじまる 12 月中旬までに、予防接種を済ませることをお勧めします。

定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。

定期予防接種対象者

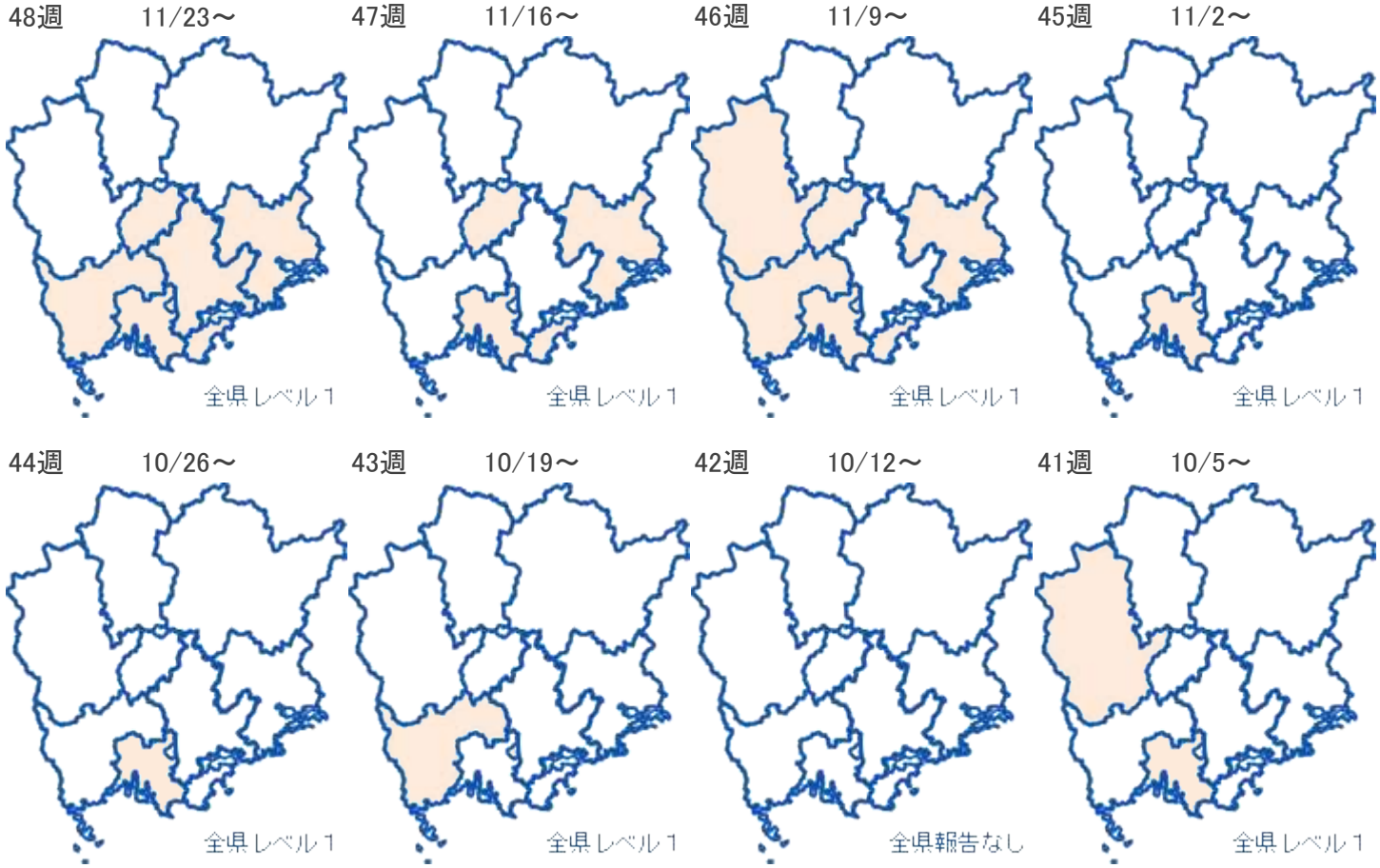
＊65 歳以上の方

＊60～64 歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり、日常生活が非常に困難な方

◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ　2015年 48週

2015年12月2日
9:55:28



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないと
レベル3が継続されます。